

中学校英語科指導（動詞編）

現在完了時制の指導とその形成的評価

田 辺 裕 弼

はじめに

従来行なわれてきた日本における英語科の指導は、あまりにも外国の学者の指導法、言いかえるならば、日本人以外の外国人が考えた英語を習うための方法を重視してきたように思われる。さらに端的に言うならば、日本人独自在考えた、日本人のための英語学習法というものがないように思われる。筆者の過去20年間の短い英語教師としての経験を通して、このことが感じられる。

Oral Method、Pattern Practice、Transformational Grammar と次々と新しい理論のもとに英語教授法が変わっていくたびに、時代におくれをとるまいと手あたり次第に関係書を読んで、自分の教授法に取り入れようと努力してきた。変形文法にいたっては、ついに筆者の貧知に及ばずあきらめてしまった。

筆者は日頃の指導経験を通して、日本人、しかも中学生の年代の生徒が英語学習を始めるのに最も効果的な方法があるはずであると考え、自分の考えた指導法を「動詞の指導」として5年前にやはりこの紀要に発表させていただいた。先日突然、卒業生（現在大学4年）がやってきて、東京のアルバイト先の中学生に田辺方式で教えてやったら効果万点でアルバイト料をぐんとはずんでもらったと話して帰っていった。とんだところで田辺メソッドが役立っているんだなと苦笑している。いまここにもう一度簡単に5年前の指導法と、現在の指導法について紹介させていただきたい。

筆者の考え出した教授法というのは、中学生の年齢の生徒たちのものの考え方、母国語の能力をフルに利用すべきであるということを根本的に考え、従来語学を学ぶ根本的な考え方が幼児が言葉を習う原理を重視しているのとまっこうから相反するものである。

まず一年生の筆者の第一時間目の授業はカード並べから始まる。以下手順を下記のような方法で行っていきとき5つの文が一番おそい生徒でも完全にマスターしたことを記憶している。

（第1の手順）5枚のカードの裏に自分の好きな動詞を書かせる。次に表にその英語をカタカナで書

裏 食 べ る

表 イ ー ト

かせる。（その英語の表現法は机間順視をしながら筆者が教える）大体カードを書き終えたところで、表のカードを読ませ、それが「～なさい」という命令形であることを理解させ、しばらく5枚のカードを交互に言わせる。「イート」だけでは何を食べるかわからないので、自分の好きな食べものをあとにつけて言わせると、「イート アップル」、「イート パナナ」、「イート エッグ」としばらくは教室は蜂の巣をつついたようである。

(第2の手順) こんどは二枚のカードに左のように書かせる。そして第1のカードの前に、次のカードを置いて読ませる。そして今度はそうすれば、「～が～をする。」という意味になるというルールを教える。順番にさきほどの五枚のカードと、今作ったカードとの組み合わせで発表させる。しばらくの間は2・3の生徒が、「あなたは食べなさい」というさきほどの練習との混同が残るが、間もなく完全に定着するようである。

裏 私 (あなた)

表 アイ (ユー)

(第3の手順) こんどは アイ・イート、ユー・イートが定着したところで、第3番目に作ったカードを一番左端に置くと「～するか」という疑問文になることを教える。「ドウ・ユー・イート?」と言わせるのはそう困難なことではない。「イート」、「ユー・イート」、「ドウ・ユー・イート」と何回も言わせ完全にルールが定着するのに15分～20分もあれば十分である。ここまでで生徒の作った英文は250以上の意味の異なった文であった。

裏 ～するか?

表 ド ウ

この事実を生徒に教えたときの生徒のおどろきとよこびをいまでもよくおぼえている。この方法が如何に効果的であるかも強調し、家庭での練習をすすめ、さらに自主的にカードをふやして個人の練習をすすめた。するとある日、ある生徒は50余枚の動詞カードを作り、得意気私の前で並べてみせたりしたものである。

以下、もっとくわしくその後の発展を述べたいが、今回はこのことが主題ではないので4枚目、5枚目のカードは省略する。さて、このようにあるルールに従ったカード学習により、なるほどある点までは非常に効果的に進んでいった。しかし完了時制、受動態のところで思わぬ壁にぶつかった。

受動態については形はなるほど正しいが、受動態にできないものまでも機械的に受動態にする誤答がみられた。例えば I was sat by a teacher. (私は先生に坐わらせられたという意味で用いている) のような文がよくみられた。完了形については日本語のなかに英語ほど明確な時制の表現がないために生ずる誤答が多くみられた。いまこれらのことを実際にどういう指導過程の結果生れたものかを、完了形に焦点をしばって考察していきたい。まだ完了形は指導の中途であり、三年になれば新教科書によりもう一度学習することもあるので、中間形成評価として発表し、先輩諸氏の御指導をたまわり、今後の指導に役立てたい。さゝやかな実践記録にすぎず、研究紀要に載せるに足る内容があるかはなはだ疑問ではあるが、先輩諸氏の御一読を切に願うものである。

1. 完了形の指導過程

ア) カード指導

今回の改訂によって完了時制は三年に移行されたわけであるが、何年で学習しようとも、この時制の理解は日本人にとって最大の困難点の一つではないかと思われる。なるほど動作の完了を表現する完了用法は比較的理解が容易であるが、経験用法、継続用法となると過去時制との関係と複雑に交錯して理解が困難である。そこで筆者が試みた方法は、あらかじめ日本語で説明し、日本語の表現の中で完了形を用いる代表的な用法を日本語で考えさせた。そこで例のカード法により、まず最初に次の三枚のカードを作らせた。

(1)	(2)	(3)
裏 ちょうど ～し終わったところです	裏 ～したことがある	裏 ずっと～している
表 have + just + 過去分詞	表 have + ^{過去} 分詞 + before	表 have + ^{過去} 分詞 + since ~ for ~

(1)の用法についての簡単な使い方を説明した後で、生徒各自にあらかじめ二年当初から持たせてある動詞の活用表を用いて、自分の好きな文を5つ作らせた。I have just finished～ という文が一番多く、続いてI have read the book. I have eaten～. I have written～. I have studied～. I have washed～. I have watched TV. の文が多くみられた。

同じ方法で(2)、(3)のカードを使って、簡単な説明の後で文をそれぞれ五つずつ作らせた。(2)の文の最も多いまちがいで、しかも最も多い例文はI have gone to～。という文であった。もちろんその時点ではその誤答については何もふれず、どんどん自由な文を作らせた。

(3)の用法では、I have lived in～。I have studied English for～。という例文がもっとも多く決定的に用法のまちがいはみられなかった。

イ) LL指導

上記のカードによる練習により、自分にある程度までなっとくのいくまで理解させたあとで、LL教室で You have～。Have you～? Yes, I have. No, I haven't. I haven't～。He (She) has～。Has he (she)～? Yes, he (she) has. No, he (she) wasn't. He (She) hasn't～。という完了形の基礎的運用の練習をさせた。そのあとで簡単な例文を何もみないで作らせた。

ウ) 教科書の例文指導

いままでは試行錯誤の中での練習ばかりであったので、こゝで文字を通してはっきり、その使い方、意味をつかませるために、教科書に出てくる完了形の文をノートにぬき書きをさせ、それらの文章を訳させ、教師の説明で自分のまちがったところを赤で訂正させることにより、意味理解の定着をはかった。特に16課の完了形の用法は何故完了形を用いなければならないのか、理解が困難な文もあったが、生徒の理解度は80%以上であった。

エ) 3-Sentence-Story指導

本校では教科書に実際に学習する以前に、LLにより音声指導と基本的な使い方を練習させたあとで、日常のスピーチの中でできるだけ新文型を用いて、自分の身のまわりのことを発表させる活動を長年とり入れて、その活動の中で新文型の使い方を自分のものにして行く方法をとっている。

過去数年間は一貫してこの指導を続け、研究発表会でも、その方法と実践について紹介してきた。この方法の利点は、ペーパーテストではみられない生徒の困難点が観察チェックにより、可能であるということも過去の研究発表会で何回も発表してきた。しかしこの方法の欠点は、一時間にごく限られた生徒のチェックしかできず、全員のチェックまではかなりの時間を必要とする。そこで筆者は、「3-Sentence-Story」と名づけて、生徒に新しい基本文型を必ず使って三つの文章で一つの物

語を作らせる。しかもそれはフィクションではなく実話を書かせる。これはあらかじめ家庭学習として与えるのではなく、授業の始めに5分間をとって、「完了形の完了用法を使って3-Sentence-Storyを作りなさい」とだけ教師が言えば生徒は三つの文を使って一つの物語を作るよう約束ができていたので3～5分の中に書きあげるので、すぐ提出させたあとで、数名の者に書いた内容でもよいし、別の内容でもよいので話しをさせる。その間いちじるしい音声の間違い、語法の間違いを指導する。集めた用紙は必ずその日の中に本人に返却するようにしている。採点の約束も生徒に公表しているので、それに従ってA B C Dの四段階で評価する。評価規準は次の通りである。

- A…新文型の使い方も正しく話もまとまっている。
- B…新文型の使い方は正しいが、話しのまとまりがないか、他の二つの文の中で一つでも文法的なあやまりがある。
- C…他の二つの文は正しいが、新文型の使い方が間違っている。また二つ以上の文法的間違いがある。
- D…無答、またわ内容の判読がいちじるしく困難

なれてくれば、これらの採点は1クラスについて10分～15分でできる。もちろん毎時間こういう作業をするのではなく、週に一回ぐらいの割合で実施している。以上のような活動を3-Sentence-Storyと呼んでいる。もちろんこの活動を完了形についても実施したので、その結果については後の項で詳述したい。

2. 評価とその考察

さきに記述した指導過程により昨年の10月下旬から、今年の1月下旬にいたるまでの約3ヶ月間の指導を行ってきた。もちろん完了形の指導がこれで終わったというのではない。現在もまだ指導の途中であるが、過去3ヶ月間の指導の中で形成評価としての評価を三回行なったので、それらの評価問題、時期、方法について記述し、それらの結果について考察を試みたい。

ア) 英作文問題による評価と考察

現在の二年生は一年生の二学期から本校自作の「中学校英語総復習」という英作文問題集を各自が持っている。この問題集の構成は、基礎編(1) (1年の復習1番～176番、2年の復習177番～275番、3年の復習276番～323番)、基礎編(2) (324番～713番)、応用編(1) (714番～967番)、応用編(2) (968番～1113番)、応用編(3) (1116番～1220番)からなっている。完了形に関しては、基礎編(1)の259番～275番の17問と、基礎編(2)の540番～553番の14問、応用編(1)773番～786番の14問、831番～837番の7問、応用編(2)、(3)の中にばらばらに10問計55問ある。その中で生徒の大部分がパスした540番～553番の14問について調査したのでそれについて記述したい。この問題集の使い方は主に家庭学習として、ある生徒は予習として、またある生徒は復習として利用している。あらかじめ大きな期限を決めて、177番～275番は11月末まで、324番～569番は二学期末までというふうにして、教科書の各単元の終了時より二週間ずらしてデッドラインを決め、生徒に毎週一回ノートを提出させ、まちがった

所でストップをし、またそこを自分で考えたり、教師の指導を受けて訂正し、ストップをかけられた後の問題について、また一週間先に提出をして指導を受ける。毎回100～150名の生徒がノートを提出する。土曜日提出させ月曜日に返却するようにしている。12月20日/切の540～553の完了形について、Aクラスの実態は次のようであった。

- Aクラス 男子23名 女子21名 計44名
- ノート提出者 全員44名（ただし、まだ540番まで合格していない生徒が4名いるので調査の対称者は男子21名、女子19名の40名）

◦ 英語問題

完了型

正答率

- 540. 私たちはちょうど夕食を食べ終わったところです。
- 541. きみはもう朝食をすませましたか。いいえ、まだです。
- 542. 私はまだ昼食を食べていません。
- 543. 私は三回ロンドンに行ったことがあります。
- 544. あなたは何回その町を訪れたことがありますか。数回あります。
- 545. 私はヨーロッパへ一度も行ったことがない。
- 546. 彼は昨日からずっと病気で。
- 547. 彼はいつからずっと病気ですか。先週からです。
- 548. 彼は昨日からずっと病気ではありません。
- 549. 冬がきた。
- 550. 彼はもう来ていますか、いいえまだです。
- 551. 彼はまだ来ていません。
- 552. どこえ行ってきたところですか。郵便局です。
- 553. 彼とはもうどれくらいつき合っていますか。10年以上です。

問題番号	正答	誤答	正答率
540	39	1	97.5
541	39	1	97.5
542	40	0	100
543	40	0	100
544	34	6	85
545	40	0	100
546	37	3	92.5
547	31	9	77.5
548	40	0	100
549	38	2	95
550	37	3	92.5
551	37	3	92.5
552	33	7	82.5
553	24	16	66.6

(問題別誤答例)

問題番号	誤答例(一線の箇所が誤答)	考察
540	We have just finished <u>eat</u> supper.	◦ 完了形の形は正しい。
541	Have you finished <u>eat</u> supper yet?	◦ " (同一人である)
544	How many times have you visited <u>to</u> the city?	◦ "
	How <u>many</u> times have you been to the city?	◦ many はないが完了形の形は正しい。
	How many times have you been <u>the</u> city?	◦ to がないが完了形の形は正しい。
	How many <u>have</u> you been the city?	◦ times がないが完了形の形は正しい。
	I have been <u>to</u> there several times.	◦ to がいらないが完了形の形は正しい。
		正答の中にHow often have you been to the cityが多くみられた。

546	<p>He was been sick since yesterday. He always has sick from yesterday. He had been stck since yesterday.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ yesterday につられて has と was の混同がみられた。◦ ずっとという言葉から always を用いている。◦ since と from の使い方が理解されていない。
547	<p>When has he been sick? (4名) Since when has he been sick? (4名) When has he been sick since?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ yesterday につられて、was が had になったのか、過去完了についての自学自習との混同か。 ◦ いつからという日本語にとらわれて When を用いた生徒が多くみられた。
549	<p>Winter has came. (2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 過去分詞の過去形の混同がみられる。
550	<p>Has he came yet? (2名) Has he already came?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 過去分詞の過去形の混同がみられる。 ◦ already の使い方とつづりがちがう。
551	<p>He hasn't came yet. (3名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 過去分詞と過去形の混同がみられる。
552	<p>Where have you gone? (3名) When have you been? I have to the post office.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ gone と been の使い分けが理解されていない。 ◦ 答だから been を省略してよいと考えている。
553	<p>How long have you met him? How long have you seen him? How long have you kept him? How long have you been known him? How long have you company with him? How long have you been associtte with him? How long have you been friend? For than ten years. More ten years. More than for ten years.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 完了形の形はあっているが、「どのくらいつき合っているか」という日本語に対する英語の表現が理解されていない。 ◦ 「10年以上」という表現のしかたが理解されていない。

全体的に完了形の形は正しいが、日本語にとらわれて、英語の表現が困難である。これは筆者のカード法による日本語から導入していった欠点であろう。もっと、もっと英語の基礎的な表現を音声を通じて理解させていく必要がある。これを反省材料として今後の指導に役立てていきたい。

イ) 標準テストによる評価と考察

さきの評価が生徒の自習による理解度をみたのであるが、こんどは標準的テストによって生徒の完了形に対する理解度を調査した。

調査月日 昭和56年1月13日

調査対象 Aクラス(在籍44名 欠席3名 41名)

調査問題 (市販のテストを組合せて作製したもの)

3 次の①～④の現在完了の用法と同じ用法の文を下の(1)～(4)から選んで、番号で答えなさい。

- ① I have just been to the store.
 - ② She has never been to Europe.
 - ③ He has studied English for three years.
 - ④ I have lost my dictionary.
- (1) We haven't had breakfast yet.
 (2) Father has gone to work.
 (3) How often have you visited Kyoto?
 (4) How long have you known her?

5 次の各組の文の内容が同じになるように、()内に1語ずつ書きなさい。

- ① { He went to Tokyo. He is not here now.
 He () () to Tokyo.
- ② { Tom began to study two hours ago. He is still studying.
 Tom () () () two hours.
- ③ { I lost my watch. I do not have it now.
 I () () my watch.
- ④ { This is the most beautiful picture that I've ever seen.
 I () () () such a beautiful picture.

②——⑦、——④をそれぞれ日本語になおしなさい。

⑦ I haven't seen you since last Monday. ④ I've never got out of San Francisco.

問題	正答	誤答	無答	正答率
3				
①	35	5	1	85.3
②	33	7	1	80.4
③	38	2	1	92.6
④	34	6	1	82.9
5				
①	22	17	2	53.6
②	19	19	3	46.3
③	31	5	5	75.6
④	27	7	7	65.8
⑦	33	5	3	80.4
④	35	3	3	85.3

誤答分析

問題 3 について

- ①の完了用法を (2)の結果用法と間違えたもの3名
 (3)の経験用法と間違えたもの2名
 (4)の継続用法と間違えたもの0名
 無答 1名
- ②の経験用法を (1)の完了用法と間違えたもの2名
 (2)の結果用法と間違えたもの3名
 (4)の継続用法と間違えたもの2名
 無答 1名

考 察

- 結果用法は未習のため理解が困難であった。
- 結果用法はやはり理解されていなかった。

- | | | |
|---------|-------------------|---|
| ③の継続用法を | (1)の完了用法と間違えたもの0名 | ○ three yearsの3という数と、oftenという回数のイメージの混同がみられた。 |
| | (2)の結果用法と間違えたもの0名 | |
| | (3)の経験用法と間違えたもの3名 | |
| ④の結果用法を | (1)の完了用法と間違えたもの3名 | ○ 結果用法未習であるが他の用法が理解されているために、割合に誤答が少なかった。 |
| | (3)の経験用法と間違えたもの3名 | |
| | (4)の継続用法と間違えたもの0名 | |
| | 無 答 | 1名 |

問題 5) について

- | | | | |
|------------------------|-------------------|-----|---|
| ①の正解 has gone を | has been | 12名 | ○ has gone と has been の使い分けは未習のため誤答が特に目立って多かった。 |
| | have gone | 1名 | |
| | have been | 1名 | |
| | had gone | 1名 | |
| | had been | 1名 | |
| | has go | 1名 | |
| | 無 答 | 2名 | |
| ②の正解 has studied for を | has studying for | 3名 | ○ 継続用法がまだ十分に理解されていない。 |
| | has studied since | 2名 | |
| | has studied for | 1名 | |
| | has ever studied | 1名 | |
| | has been studied | 1名 | |
| | その他つづりのまちがひ | 11名 | |
| | 無 答 | 3名 | |
| ③の正解 have lost を | had lost | 1名 | ○ 結果用法未習のために誤答、無答が比較的が多かった。 |
| | haven't have | 1名 | |
| | hasn't lost | 1名 | |
| | have loest | 1名 | |
| | have のみ | 1名 | |
| | 無 答 | 5名 | |
| ④の正解 have never seen を | have ever seen | 5名 | ○ I've ever seen につられ間違えたものが多くみられた。 |
| | have never seen | 1名 | |
| | have ever most | 1名 | |
| | 無 答 | 7名 | |

問題 2) の㉞、㉟について

㉞について since last Monday をこの前の月曜日、先週の月曜日みたと書いたものが5名

㉟については、1度もサンフランシスコへ行ったことがないと書いたものが3名

無答がそれぞれ3名だった。

このテストを通じて完了形の結果用法の理解が不十分であること、has gone と has been のちがいが理解されていないことが分った。今後これらの生徒の困難点の解消にこの形成的評価を十分に生かしていきたい。

ウ) 3 - Sentence - Story による評価と考察

いままでの評価は与えられた問題に対する生徒の反応、すなわちごく限られた範囲での生徒の完了

形の理解をみてきたが、こんどは自由に生徒が作る話題の中で完了形をどのように使っているかみていきたい。

調査月日 12月中旬

調査対象 2年全員（抽出生徒 評価A 10名 評価B 10名 評価C 10名）

調査方法 （期末テストに、完了形の完了法、経験用法、継続用法を用いて3-Sentence-Storyを作らせたもの）

1) 経験用法

(評価A)	(評価B)	(評価C)
① I have been to Canada. It's a very beautiful country. But Canada isn't as good as Japan.	① Have you ever been to Ehime? Ehime is my parent's country. I want you go to Ehime.	① I have been to Kyoto two years ago. Kyoto has many good places. I think one of them is Kinkakuji.
② My hobby is to study about stars. So I have many books about them. I have read them many times.	② I have seen Pandas only once. They were very pretty. But they were died.	② I said, "I have been to Hawaii." Really? It's really. I have went. to Hawaii in Tottori.
③ I have never seen a spirit. But I believe there are spirits in this world. I want to go to the world of spirits.	③ I have been to my uncles house once. His house is bigger than my house. I want to live a big house.	③ My house is near Nakaumi. I have fallen in Nakaumi many time. Nakaumi is beautiful and terrible.
④ Do you know Mr. Tanabe? He has been to England many times. So I think he knows England very well.	④ I have been to Shuhodo. I want to there last winter. I had a good time then.	④ I never have been to Tokyo. Tokyo was very interesting. I want to go to Tokyo again.
⑤ Mr. Oh has made a great world record. But he retired. He was the greatest baseball player of the world, I think.	⑤ I have never taken so had marks in English before. But I always have bad makks. Because my English teacher is Mr. Tanabe and gives us difficult tests.	⑤ I have never been to Tokyo. I wancheda a Mt. Fuji. I was surprised to see it.

2) 継続用法

(評価A)	(評価B)	(評価C)
① I have a pen friend. She sometimes sends me a letter. I haven't seen her for a long time.	① I am born in Sakae Minato. Then I returned to Honjo soon after that. I have lived in Honjo for 10 years.	① I have watched telescope 30 minutes. I want to watch the moon and the Saturn. But I could not see the Saturn.
② I have been busy since the beginning of this week. Because I had to study for this final test. And I wanted to make a stereo amp.	② I have lived in Japan for 14 years. This country is very beautiful. I am very happy to be this country.	② Whst an old dictionary this is! It is my father's. He have used it for 15 years.
③ I have been interested in baseball. And I like Carp best. What team do you like best, Mr. Tanabe?	③ I have studied since this morning Because it has the test tomorrow. How long must I study today?	③ I lived in Matsue since I was born So I know about Matsue very much. But I have never been to Bukeyashiki.

- | | | |
|---|--|--|
| 4 I have studied English for 2 years.
I like it very much and I want to speak it well. Because I want to go to America some day. | 4 I have used my desk for 10 years.
It's a good desk.
It don't break yet. | 4 I was born in Matsue.
But I lived in Hamada six years old.
I lived in Matsue since 1976. |
| 5 I have lived in Matsue since I was born.
Matsue is a famous castle town.
Many people visit it every year. | 5 I have known him since 1973.
When he was 7 years old, he was cry baby.
But he is strong boy now. | 5 I have been cold since last week.
Because last week was very cold.
But today is warmer than last year. |

3) 完了用法

(評価A)

(評価B)

(評価C)

- | | | |
|---|--|---|
| 1 Mr mother gave me a book last year.
The book is Christmas Carol.
I have not read it yet. | 1 Christmas hasn't come yet.
I want to come it fast.
I like it very much. | 1 I haven't have a watch yet.
I want it.
But my parents doesn't buy it. |
| 2 I have already used a stove.
It is December now.
It will begin to snow soon. | 2 I have a lot of books.
I have already read half of them
After the test, I am going to have them again. | 2 Sometimes my sister hasn't done her homework in the evening. But she always read comie books. I think she is foolish. |
| 3 I have already written the new year's cards.
But my friends have not written them yet.
I am afraid they won't write them to me. | 3 There are still more than 3 weeks before Shogatsu. But my sister has already written new year's cards. I am going write them after a few days. | 3 I have run very long way last month.
I run very hard from the start to the goal. So I gave a good record. |
| 4 The new year will come soon.
I am going to send 50 new year's cards this year. But I haven't witten them yet. | 4 I don't like to make 3 - sentence - stories.
But I had to meke. them. I have just written only one 3 - sentence - story. | 4 Has she eaten breakfast yesterday?
I think she hasn't eaten breakfast.
Because she was sleeping. |
| 5 This English test has just started.
I want to get a good mark in this test.
So I am writing very hard. | 5 I have just started this test.
This is a difficult.
I will not good marks. | 5 I have just written the English test.
I was very busy.
Next test is music. |

考 察

以上生徒の作品をみると完了形を用いてかなりゆたかな内容について表現が可能であることが分る。クラスによって多少差はあるが、評価Aをもらったもの10～15名、Bをもらったもの7～10名、Cが20名前後、D2～5名、普通のペーパーテストでは先に示したように、正答率は75%であるのに対してCの評価が50%前後におちこむのはやはり、完了形の理解不十分ということが第一にあげられるが、それにもまして大きな原因は評価Cの作品の多くにみられるように、完了時制という表現が日本語にないために起るものであると考える。このことはやはりこうした生徒の話題の中で使われる表現をチェックすることによってのみ可能であり、標準テスト等ではチェックが不可能なことである。

いずれにせよ今回の調査で明らかになったことは、have + 過去分詞は完了形であり、継続、完了、経験、結果の用法があることは頭では理解しているが、自然な運用となると前途ほど達しの感がある。より確実な基礎の定着、よりゆたかな運用への基礎づくりとしてこの形式的評価を十分に生かし今後の指導に役立てたいと思う。